

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月8日
【四半期会計期間】	第47期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社創健社
【英訳名】	Sokensha Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中村 靖
【本店の所在の場所】	横浜市神奈川区片倉二丁目37番11号
【電話番号】	045(491)1441(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 本田 次 男
【最寄りの連絡場所】	横浜市神奈川区片倉二丁目37番11号
【電話番号】	045(491)1441(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 本田 次 男
【縦覧に供する場所】	株式会社創健社横浜支店 （横浜市神奈川区片倉二丁目37番8号S Kビル） 株式会社創健社大阪支店 （大阪市淀川区西中島三丁目14番27号新大阪南方ビル2階） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）上記の横浜支店は、金融商品取引法に規定する縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜を考慮して、縦覧に供する場所としております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第2四半期連結 累計期間	第47期 第2四半期連結 累計期間	第46期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	1,953,296	1,923,024	4,034,170
経常利益又は経常損失() (千円)	14,606	22,809	2,350
当期純利益又は四半期純損失() (千円)	18,245	24,910	3,242
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	20,357	20,270	23,029
純資産額 (千円)	926,479	949,412	969,866
総資産額 (千円)	2,485,024	2,391,669	2,554,937
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() (円)	2.59	3.53	0.46
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	37.2	39.7	37.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	37,561	25,660	13,635
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	22,198	10,728	33,387
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	48,652	98,954	3,862
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,012,050	941,027	1,077,304

回次	第46期 第2四半期連結 会計期間	第47期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	0.79	1.63

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等(消費税及び地方消費税をいう。以下同じ。)は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融政策を背景とした円安・株高傾向を受け、景気は穏やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、長引く欧州債務問題や新興国の景気減速懸念などから、先行きは依然として不透明な状況が続きま

した。
当社グループを取り巻く食品業界におきましても、円安による輸入原材料価格の上昇や電気料金・燃料等のエネルギーコストの増加もあり、加えて消費者の節約志向により低価格傾向が続き、収益が圧迫される厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは第2次中期経営計画『創健社「新たな顧客層の獲得と利益重視の経営体質へ」(平成23年4月1日から平成26年3月31日まで)』の最終年度となります当連結会計年度におきましては、売上高拡大のための各種の施策の展開により、売上総利益の額を増加させ、営業利益の確保を図るため、役員・社員一丸となって取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高につきましては、「副食品」がさば・いわし缶詰及びレトルトカレーの売上増により、前年同四半期比14百万円増(3.9%増)の3億89百万円、「油脂・乳製品」がえごま油及びオリーブ油の売上増により、前年同四半期比8百万円増(3.1%増)の2億73百万円、「その他」が空気清浄機の売上増により、前年同四半期比7百万円増(11.9%増)の69百万円となりました。しかしながら、「嗜好品・飲料」がわれせんべい及びピーナッツサブレ等の売上増があったものの、チョコレート及び果汁飲料等の売上減により、前年同四半期比38百万円減(10.6%減)の3億25百万円と、「栄養補助食品」がハトムギ酵素及び乳酸菌の売上増があったものの、ヨーグレナ等の売上減により、前年同四半期比12百万円減(10.3%減)の1億8百万円と、「調味料」が有精卵マヨネーズ及びトマト・オニオンドレッシングの売上増があったものの、ゴマドレッシング及び液体だし並びに顆粒だし等の売上減により、前年同四半期比5百万円減(0.9%減)の6億5百万円と、「乾物・雑穀」が押麦及びハトムギ粒の売上増があったものの、うるちひえ及びきな粉等の売上減により、前年同四半期比4百万円減(2.8%減)の1億50百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、19億23百万円(前年同四半期比1.5%減)となり、売上総利益率も26.4%と前年同四半期比0.2ポイント減となりました。販売費及び一般管理費は5億29百万円(前年同四半期比6百万円減、1.2%減)と前年同四半期並みでしたが、売上高及び売上総利益率の減少がひびき、営業損益につきましては、営業損失22百万円(前年同四半期は営業損失15百万円)となり、経常損益につきましては、経常損失22百万円(前年同四半期は経常損失14百万円)という結果にて終了しました。また、四半期純損益につきましては、四半期純損失24百万円(前年同四半期は四半期純損失18百万円)となりました。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第2四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

販売実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)			主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比	
油脂・乳製品	265,612	13.6	273,888	14.3	3.1%増	マーガリン・ペに花油・えごま油・オリーブ油
調味料	611,217	31.3	605,860	31.5	0.9%減	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし
嗜好品・飲料	364,141	18.6	325,691	16.9	10.6%減	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ
乾物・雑穀	154,485	7.9	150,152	7.8	2.8%減	小麦粉・パン粉・米・雑穀・鰹節・昆布
副食品	375,152	19.2	389,845	20.3	3.9%増	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰
栄養補助食品	120,717	6.2	108,245	5.6	10.3%減	膏汁・キダチアロエ・梅エキス・ユーグレナ・ハトムギ酵素・乳酸菌
その他	61,971	3.2	69,340	3.6	11.9%増	トイレタリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレー
合計	1,953,296	100.0	1,923,024	100.0	1.5%減	-

- 1 主要顧客(総販売実績に対する割合が10%以上)に該当するものはありません。
- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
- 3 当連結会計年度から商品構成を見直したため、当第2四半期連結累計期間の販売実績をベースに前第2四半期連結累計期間の販売実績を遡及して組替え、算出しております。

仕入実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比
油脂・乳製品	194,475	13.6	199,945	14.2	2.8%増
調味料	460,892	32.3	451,018	31.9	2.1%減
嗜好品・飲料	269,806	18.9	248,657	17.6	7.8%減
乾物・雑穀	128,082	9.0	120,022	8.5	6.3%減
副食品	249,586	17.5	264,996	18.8	6.2%増
栄養補助食品	80,712	5.7	71,262	5.0	11.7%減
その他	41,960	3.0	56,536	4.0	34.7%増
合計	1,425,515	100.0	1,412,439	100.0	0.9%減

- 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億73百万円の減少となりました。この主な要因は、「現金及び預金」の1億37百万円減少及び「受取手形及び売掛金」の41百万円減少などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて10百万円の増加となりました。この主な要因は、「有形固定資産」の4百万円減少及び「無形固定資産」の3百万円減少などがあつたものの、「投資有価証券」の9百万円増加及び「保険積立金」の7百万円増加などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1億63百万円減少し、23億91百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1億5百万円の減少となりました。この主な要因は、「短期借入金」の46百万円減少及び「支払手形及び買掛金」の41百万円減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて36百万円の減少となりました。この主な要因は、「退職給付引当金」の7百万円増加などがあつたものの、「長期借入金」の48百万円減少などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億42百万円減少し、14億42百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて20百万円の減少となりました。この主な要因は、四半期純損失24百万円などによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、営業活動の結果25百万円、投資活動の結果10百万円及び財務活動の結果98百万円を使用し、前連結会計年度末に比べて1億36百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には9億41百万円（前年同四半期比71百万円減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローとして税金等調整前四半期純損失22百万円などにより、営業活動の結果使用した資金は25百万円(前年同四半期比11百万円減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローとして保険積立金の積立による支出7百万円及び無形固定資産の取得による支出2百万円などにより、投資活動の結果使用した資金は10百万円(前年同四半期比11百万円減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローとして長期借入による収入20百万円により一部相殺されたものの、長期借入金の返済による支出1億14百万円などにより、財務活動の結果使用した資金は98百万円(前年同四半期比50百万円増)となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、11百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,055,000	7,055,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	7,055,000	7,055,000		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		7,055,000		920,465		411,979

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
中村 靖	横浜市港北区	838	11.88
中村 澄子	横浜市神奈川区	782	11.08
創健会(取引先持株会)	横浜市神奈川区片倉2-37-11	623	8.83
太田油脂株式会社	愛知県岡崎市福岡町字下荒追28	590	8.36
株式会社横浜銀行 (常任代理人 資産管理サービス信 託銀行株式会社)	横浜市西区みなとみらい3-1-1 (東京都中央区晴海1-8-12晴海アイラン ドトリトンスクエアオフィスタワーZ棟)	317	4.49
月島食品工業株式会社	東京都江戸川区東葛西3-17-9	218	3.10
創健社従業員持株会	横浜市神奈川区片倉2-37-11	197	2.80
有限会社タカ・エンタープライズ	横浜市神奈川区片倉2-37-11	196	2.77
原田 こずえ	横浜市神奈川区	189	2.68
健康コーポレーション株式会社	東京都新宿区北新宿2-21-1	171	2.42
計	-	4,123	58.45

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 6,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,042,000	7,042	
単元未満株式	普通株式 7,000		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	7,055,000		
総株主の議決権		7,042	

(注) 1「完全議決権株式(その他)」欄には証券保管振替機構名義の株式が4,000株(議決権4個)含まれております。
2「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式117株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数(株)	他人名義 所有株式数(株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社 創健社	横浜市神奈川区片倉二丁目 37番11号	6,000		6,000	0.08
計		6,000		6,000	0.08

(注) 上表は、単元未満株式117株を除いております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人保森会計事務所による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,280,559	1,143,074
受取手形及び売掛金	579,713	538,126
有価証券	32,294	32,304
商品及び製品	164,384	166,773
仕掛品	144	78
原材料及び貯蔵品	21,627	22,203
その他	20,801	23,583
貸倒引当金	1,720	1,890
流動資産合計	2,097,805	1,924,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	285,163	282,903
減価償却累計額	221,349	221,687
建物及び構築物(純額)	63,814	61,216
土地	79,033	79,033
リース資産	32,752	34,762
減価償却累計額	7,631	11,094
リース資産(純額)	25,120	23,668
その他	182,697	178,797
減価償却累計額	171,626	168,044
その他(純額)	11,071	10,752
有形固定資産合計	179,041	174,671
無形固定資産		
その他	22,414	19,246
無形固定資産合計	22,414	19,246
投資その他の資産		
投資有価証券	128,582	138,148
保険積立金	94,487	102,440
その他	74,528	36,654
貸倒引当金	41,921	3,744
投資その他の資産合計	255,676	273,498
固定資産合計	457,132	467,416
資産合計	2,554,937	2,391,669

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	450,946	409,173
短期借入金	547,543	501,029
リース債務	7,273	7,695
賞与引当金	10,132	6,987
未払法人税等	10,366	5,447
その他	81,090	71,072
流動負債合計	1,107,350	1,001,404
固定負債		
長期借入金	165,089	116,866
リース債務	19,547	17,206
退職給付引当金	169,867	176,873
役員退職慰労引当金	79,700	83,000
繰延税金負債	19,110	22,484
その他	24,406	24,422
固定負債合計	477,720	440,852
負債合計	1,585,071	1,442,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	411,979	411,979
利益剰余金	398,260	423,170
自己株式	899	1,082
株主資本合計	933,284	908,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,683	40,737
その他の包括利益累計額合計	34,683	40,737
少数株主持分	1,899	483
純資産合計	969,866	949,412
負債純資産合計	2,554,937	2,391,669

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,953,296	1,923,024
売上原価	1,433,224	1,415,960
売上総利益	520,072	507,063
販売費及び一般管理費	535,769	529,472
営業損失()	15,696	22,409
営業外収益		
受取利息	2,330	100
受取配当金	922	954
仕入割引	1,085	1,199
貸倒引当金戻入額	-	332
破損商品等賠償金	95	322
その他	768	834
営業外収益合計	5,202	3,742
営業外費用		
支払利息	4,042	3,205
為替差損	67	932
その他	1	6
営業外費用合計	4,111	4,143
経常損失()	14,606	22,809
特別利益		
固定資産売却益	25	207
特別利益合計	25	207
特別損失		
固定資産除却損	0	376
投資有価証券評価損	205	-
保険解約損	207	-
特別損失合計	413	376
税金等調整前四半期純損失()	14,994	22,979
法人税、住民税及び事業税	3,347	3,346
法人税等合計	3,347	3,346
少数株主損益調整前四半期純損失()	18,341	26,325
少数株主損失()	95	1,415
四半期純損失()	18,245	24,910

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	18,341	26,325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,015	6,054
その他の包括利益合計	2,015	6,054
四半期包括利益	20,357	20,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,261	18,855
少数株主に係る四半期包括利益	95	1,415

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	14,994	22,979
減価償却費	12,624	11,762
退職給付引当金の増減額(は減少)	7,257	7,005
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	3,300	3,300
賞与引当金の増減額(は減少)	12,697	3,145
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,267	38,006
受取利息及び受取配当金	3,252	1,054
仕入割引	1,085	1,199
支払利息	4,042	3,205
為替差損益(は益)	0	932
固定資産除却損	0	376
投資有価証券評価損益(は益)	205	-
保険解約損益(は益)	207	-
固定資産売却損益(は益)	25	207
売上債権の増減額(は増加)	15,708	41,472
破産更生債権等の増減額(は増加)	356	38,176
たな卸資産の増減額(は増加)	806	2,897
仕入債務の増減額(は減少)	5,155	45,577
未払消費税等の増減額(は減少)	2,887	1,515
その他	21,927	8,279
小計	30,578	18,632
利息及び配当金の受取額	3,306	1,761
利息の支払額	3,830	3,302
法人税等の支払額	6,459	5,488
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,561	25,660
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	233,900	233,900
定期預金の払戻による収入	232,181	235,100
投資有価証券の取得による支出	136	137
有形固定資産の取得による支出	6,994	820
有形固定資産の売却による収入	50	219
無形固定資産の取得による支出	7,056	2,143
貸付けによる支出	-	1,500
貸付金の回収による収入	569	355
保険積立金の積立による支出	7,021	7,952
保険積立金の解約による収入	242	-
その他	133	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	22,198	10,728

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	51,670	-
長期借入れによる収入	80,000	20,000
長期借入金の返済による支出	74,482	114,737
リース債務の返済による支出	2,500	4,029
自己株式の取得による支出	-	188
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,652	98,954
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	932
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	108,413	136,276
現金及び現金同等物の期首残高	1,120,464	1,077,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,012,050	941,027

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
荷造運送・保管費	128,801千円	126,472千円
給料手当及び賞与	153,334	150,441
研究開発費	14,073	11,778
退職給付費用	15,990	17,039
役員退職慰労引当金繰入額	3,300	3,300
賞与引当金繰入額	4,621	6,787
貸倒引当金繰入額	2,294	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	1,215,166千円	1,143,074千円
有価証券(MMF等)	32,284	32,304
預入期間が3か月を超える定期預金	235,400	234,350
現金及び現金同等物	1,012,050	941,027

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

配当金の支払額

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

配当金の支払額

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純損失金額()及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)
1 株当たり四半期純損失金額()	2円59銭	3円53銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	18,245	24,910
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	18,245	24,910
普通株式の期中平均株式数(株)	7,050,603	7,049,602

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、1 株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月7日

株式会社創健社
取締役会 御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員 公認会計士 若林 正和 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 三枝 哲 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社創健社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社創健社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれておりません。